

平成28年度

事業報告書

1. 法人事業報告書
2. 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

平成28年度

法人事業報告書

社会福祉法人 恵の園

目 次

1.平成27年度総括報告(1年を振り返って).....	1
2.法人役員及び評議員.....	3
3.理事会・評議員会開催状況.....	3
4.内部監査結果.....	6
5.法人借入金償還状況.....	6
6.職員人事異動状況.....	7
7.職員配置状況.....	7
8.施設利用者状況.....	7
9.補助金による助成物件.....	8
10.本部事業報告.....	9
(1) 庶務・経理係.....	9
(2) 固定資産管理係.....	10
(3) 防災係.....	12
(4) 人材育成係.....	13
(5) 広報係.....	15
(6) 地域福祉係.....	16
(7) 交通安全係.....	17
(8) 安全衛生係.....	18
(9) 収益事業係オリーブ.....	19
(10) ポパイ(福祉用具貸与・販売事業).....	19
(11) その他の公益事業.....	20

1. 平成 27 年度総括報告（1 年を振り返って）

（1）運営全般

平成 27 年度は、「隣人愛 そして調和」を年間スローガンに掲げ、恵の園の原点を振り返りつつ「地道に、着実に、確実に、実行していくこととそのための課題の整理と対策を講じる」ことを目標に掲げ、実行のためのスケジュールを作成したが、遅れ気味となり、中途半端な対応に留まった内容があった。

また、福祉サービス事業の「ニーズへの対応」については、特別養護老人ホーム（デイサービスゆうかり、ショートステイ）建設が 3 月中旬に完成。施設整備等が遅れ気味であったが、予定の物品等を 3 月 28 日の内覧会までに間に合わせることができた。

人材の確保は、例年より採用試験等の回数の増加、人材派遣会社との契約、求人広告の掲載等を実施し、規定の人数確保は行なうことができた。

（2）福祉サービス事業の「ニーズへの対応」を進める

①特別養護老人ホームカナン（デイサービスゆうかり、ショートステイ）建設着手が予定より大幅に遅れたことで、完成が 1 ヶ月半遅れてしまった。同時に人材確保が進まず、開設準備も 3 月に入ってからとなってしまう、慌ただしい準備になってしまったが、開設準備を間に合わせることができた。また内覧会も実施した。

②特別養護老人ホーム開設に伴い、法人全体の業務遂行体制の見直しを行なう計画であったが、特別養護老人ホームの開設準備が中心となったため行事等の課題の抽出のみに留まった。

③人材の確保は、これまで専門学校、短大、大学等やハローワーク等への募集が中心であったが、職員への呼びかけ（報奨金の設定）、人材派遣会社との契約、数社に及ぶ求人広告等の契約を行ない、新規の求人方法に取り組む（次年度の契約も含む）ことができた。しかし、育成については、具体策まで出すことができなかった。

（3）恵の園の「中期ビジョン」の策定

①中期的な（5～10 年）ビジョンの策定については、まずは、項目内容を検討し、建物、什器等の計画は抽出することができた。

②「法改正をはじめとする福祉の状況変化」と「恵の園の物理的状況変化」への対応は、法改正のねらいや内容の把握を中心として研修等行なった。

③新規事業（カナン建設）の借入金返済のための資金獲得方法については、検討できなかった。

(4) 各福祉サービスの推進

- ①「ベテル」は、継続入所支援利用者3名の移行が完了し、5月末日をもって継続入所支援事業を終了した。また、就労移行支援事業は利用希望がなく、来年度の定員を10名から6名へ、就労継続支援B型を30名から34名へ変更することとした。
- ②「グレイスホーム」は、利用者の高齢化・重度化の進行により、介助を必要とする方が増え、ヒヤリハットの件数が、昨年度35件から48件に増加した。そのため、共同募金で低床ベッドを申請し、来年度の受配が決まった。
- ③「あけぼのホーム」は、利用者重度化、高齢化が進む中、アセスメント内容を確認したことで、支援の統一を行なうことができた。また、職員の業務軽減や腰痛予防のため介護リフトを2台購入した。
- ④「めぐみの里」は、利用者重度化、高齢化に伴い、「スキルアップ研修」を毎月1回実施し、職員の介護技術向上に力を入れた。
- ⑤「エステル」では、売り上げが昨年度より1.2%下回ったが、支出削減（仕入れや材料費等）を行ない、結果、目標工賃には届かなかったが昨年度より、工賃を1%上げることができた。
- ⑥「シャローム」は、りんごや野菜の栽培・販売は順調であったが、気候等の影響により、農産物の生産・売上が前年度比約83%、平均工賃は前年度比約98%に留まり、目標を達成できなかった。
- ⑦「あじさいの家」では、昨年度に引き続き渋川市との委託契約の終了年について話し合いを行った。
- ⑧「マイーム」は、虐待関連の研修を毎月の打ち合わせの中で実施した。
- ⑨「さつき」は、利用者の再アセスメントを実施できた。
- ⑩「ぶどうの木」は、通所のご家族から短期入所利用等の相談が増加した。
- ⑪福祉の啓発誌「魁」の編集・作成・発行（4回）を行ない、福祉の啓蒙を行なった。

(5) 施設整備関係

主に次のような施設整備を行なった。

- ・ベテルでは、オンデマンド印刷機（12,528,000円）を購入した。
- ・グレイスホームでは、引き続き居室改修工事（2部屋、1,458,000円）を実施した。
- ・あけぼのホームでは、居室改修（788,400円）を行ない、ベッド（3台、741,949円）、介護リフト2台（2,554,280円）を購入した。
- ・シャロームでは、施設車輛（ブローニー中古・833,446円）、製氷機（311,040円）、厨房エアコン（237,600円）を購入した。
- ・その他、職員研修所の屋外工事（外壁塗装、雨漏り補修等・200万円）を実施した。

(6) 借入金の償還

- ・グレイスホームの大型改修工事（福祉医療機構）・ダビデホーム建設（北群馬信用金庫）・クロスホーム建設（群馬銀行）の借入金は、平成27年度分の償還を予定通り行なった。新たに特別養護老人ホームカナンの建設（北群馬信用金庫・群馬銀行）借入は第五期中、四期まで行ない、群馬銀行、北群馬信用金庫への利息の支払いが開始した。

2. 法人役員及び評議員

(1) 現役員、評議員 (平成29年3月31日)

役職	定数	氏名
理事	7	山田雅人(理事長)、池田澄子、細井雅生、永田智彦、柴田敏樹、星名建市、木村睦子
監事	2	澤口俊行、飯塚秀利
評議員	15	山田雅人、池田澄子、細井雅生、永田智彦、柴田敏樹、星名建市、木村睦子、賤津進介、内海文雄、櫻井実、内山由紀、中澤悦二、井口千春、福田政彦、柏原秀夫

(2) 退任役員、評議員 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	評議員	内海 文雄	平成29年3月31日	
	〃	中澤 悦二	〃	
	〃	柏原 秀夫	〃	
	〃	福田 政彦	〃	

(3) 就任役員、評議員 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任		なし		

3. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

開催日	審議内容	審議結果
第218回理事会 平成28年5月27日	第1号議案 渋川市からの土地購入について(案)	可決
	第2号議案 平成27年度事業報告(案)	可決
	第3号議案 平成27年度会計収支決算(案)	可決
	第4号議案 指定介護予防・日常生活支援総合事業指定申請(案)	可決
	第5号議案 運営規程の一部変更(案) ・カナン ・カナン(短期入所) ・ゆうかり(指定通所介護) ・ゆうかり(指定介護予防通所介護)	可決
	第6号議案 諸規程の一部変更(案) ・定款 ・経理規程	可決

	<ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則 ・職員給与規程 ・契約職員給与規程 第7号議案 平成28年度出納係変更(案) 第8号議案 理事長報酬について(案)	可決 可決
第219回理事会 平成28年9月9日	第1号議案 諸規程の一部変更(案) ・定款	可決
第220回理事会 平成28年12月15日	第1号議案 平成29年度介護職員初任者研修事業(案) 第2号議案 諸規程の一部変更(案) ・定款 ・契約職員給与規程 第3号議案 新規規程(案) ・評議員選任・解任委員会運営規程 第4号議案 評議員選任・解任委員の選出について(案)	可決 可決 可決 可決
第221回理事会 平成29年1月23日	第1号議案 評議員候補者の推薦(案) 第2号議案 評議員選任・解任委員会の招集(案) 第3号議案 評議員選任・解任委員報酬規程(案)	可決 可決 可決
第222回理事会 平成29年3月18日	第1号議案 平成28年度会計収支補正予算(案) 第2号議案 平成29年度統括責任者及び資金運用責任者 管理責任者・施設長・会計責任者・出納係 の任命(案) 第3号議案 平成29年度事業計画(案) 第4号議案 平成29年度会計収支予算(案) 第5号議案 諸規程の新規制定及び一部変更(案) ・職員就業規則 ・育児・介護休業等に関する規程 ・評議員選任・解任委員会運営規程 ・評議員選任・解任委員会報酬規程 ・経理規程 ・組織及び運営に関する規程 ・役員等報酬規程 ・定款 ・定款施行細則 ・運営協議会規程 第6号議案 役員(理事・監事)の選任(案) 第7号議案 理事長の選任(案) 第8号議案 理事長及び兼務理事の報酬額(案)	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催日	審議内容	審議結果
第111回評議員会 平成28年5月27日	第1号議案 渋川市からの土地購入について(案) 第2号議案 平成27年度事業報告(案) 第3号議案 平成27年度会計収支決算(案)	可決 可決 可決

	第4号議案 指定介護予防・日常生活支援総合事業指定申請(案)	可決
	第5号議案 運営規程の一部変更(案) ・カナン ・カナン(短期入所) ・ゆうかり(指定通所介護) ・ゆうかり(指定介護予防通所介護)	可決
	第6号議案 諸規程の一部変更(案) ・定款 ・経理規程 ・職員就業規則 ・職員給与規程 ・契約職員給与規程	可決
	第7号議案 平成28年度出納係変更(案)	可決
	第8号議案 理事長の報酬について(案)	可決
第112回評議員会 平成28年9月9日	第1号議案 諸規程の一部変更(案) ・定款	可決
第113回評議員会 平成28年12月15日	第1号議案 平成29年度介護職員初任者研修事業(案) 第2号議案 諸規程の一部変更(案) ・定款 ・契約職員給与規程 第3号議案 新規規程(案) ・評議員選任・解任委員会運営規程 第4号議案 評議員選任・解任委員の選出について(案)	可決 可決 可決 可決
第114回評議員会 平成29年3月18日	第1号議案 平成28年度会計収支補正予算(案) 第2号議案 平成29年度統括責任者及び資金運用責任者管理責任者・施設長・会計責任者・出納係の任命(案) 第3号議案 平成29年度事業計画(案) 第4号議案 平成29年度会計収支予算(案) 第5号議案 諸規程の新規制定及び一部変更(案) ・職員就業規則 ・育児・介護休業等に関する規程 ・評議員選任・解任委員会運営規程 ・評議員選任・解任委員会報酬規程 ・経理規程 ・組織及び運営に関する規程 ・役員等報酬規程 ・定款 ・定款施行細則 ・運営協議会規程 第6号議案 役員(理事・監事)の選任(案) 第7号議案 理事長の選任(案) 第8号議案 理事長及び兼務理事の報酬額(案)	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

4.内部監査結果

平成28年5月19日(木)に当法人の監事による平成27年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

5.法人借入金償還状況 ※元金のみ (単位:千円)

借入先	当初借入額	償還済額	当期減	借入残額	備考
社会福祉・医療事業団	30,000	9,590	1,570	18,840	グレイスホーム 建物改修工事借入金
北群馬信用金庫	36,800	13,500	3,600	19,700	ダビデホーム 建設借入金
群馬銀行	45,000	8,505	4,860	31,635	クロスホーム 建設借入金
群馬銀行	600,000	0	0	600,000	カナン 建設借入金
北群馬信用金庫	500,000	0	0	500,000	
計	1,211,800	31,595	10,030	1,170,175	

6.職員人事異動状況 (平成28年度中) ※正職員のみ

	採用	退職
人数	15名	14名

7.職員配置状況 (平成29年3月31日現在)

	ベテル	グレイス ホーム	あけぼの ホーム	めぐみの 里	エステル	シャローム	さつき	マイーム
正職員	7	14	23	31	5	4	2	2
契約職員	6	3	16	14	6	6	6	7
嘱託医等	1	1	3	1	1	0	0	0
派遣職員	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	14	18	43	46	12	10	8	9

	カナン	ゆうかり	ぶどうの木	ポパイ	あじさい の家	オリーブ	合計
正職員	19	4	1	1	1	0	114
契約職員	7	4	1	1	4	2	83
嘱託医等	3	0	0	0	0	0	10
派遣職員	0	0	0	0	0	0	1
合計	29	8	2	2	5	2	208

※兼務職員、兼務嘱託員等は所属施設のみに計上しています。

8.施設利用者状況（定員及び現員及び利用率）（平成29年3月31日現在）

定員及び現員

	ベテル				グレイス ホーム		あけぼの ホーム		めぐみの里		エステル		シャローム	
	就労移行		就労継続		定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
	定員	現員	定員	現員										
生活介護					30	31	50	50	87	82				
入所支援					30	31	50	50	80	80				
入所														
通所	6	5	34	32							38	34	20	26
短期入所					1		3							
日中一時	*1		*1						4		1			
計	6	5	34	32	31	31	53	50	91	82	39	34	20	26

利用率

生活介護					100		94.2		90.2					
入所支援					99.9		94.5		94.7					
通所	41.6		78.3								85.2		112.3	
短期入所					39.5		35.8		30.2					
日中一時	0		0						10.9					

* ベテルの日中一時の定員は就労移行又は就労継続のどちらか1名のみとなります。

定員及び現員

	さつき		バルナバ ホーム		さくら ホーム		ダビデ ホーム		クロス ホーム		カナン		ゆうかり	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護														
入所支援														
入所	9	9	5	5	4	4	6	6	7	7	40	38		
通所													20	22
短期入所														
日中一時														
計	9	9	5	5	4	4	6	6	7	7	40	38	20	22

利用率

入所	96.7		99.7		95.4		89.4		97.6		72.8		26.5	
通所														
短期入所											41.3			
日中一時														

	あじさい の家		合 計	
	定員	現員	定員	現員
生活介護				
入所支援				
入所				
通所	10	8		
短期入所				
日中一時				
計				

利用率

通所	77.0
----	------

※生活介護と入所支援の利用重複者、短期入所と日中一時の定員数は合計には加算していません。

9.補助金による助成物件

助成団体	補助対象施設	助成物件	総 額	助成金額
群馬県共同募金会	グレイスホーム	ベッド	1,191,450	893,000
群馬県	めぐみの里	防犯カメラ	486,680	365,000

10. 本部事業報告

①概要

役職・管理職の育成強化のため、理事長によるチーフ以上の研修を2ヶ月に1回実施した。また、その研修の中で社会福祉法人改革の基本的なことを学ぶことができた。特別養護老人ホームの什器等の入札を行ない、3月中旬に完成した。

②重点目標

- ア 法人事業方針・重点的取り組み課題の具現化を図る
- ・法人本部で課題の検討を進めるにあたり、定期的に打ち合わせを行なったが、ほとんどの内容で具体的な対応を出すことができなかった。
- イ 特別養護老人ホームの開設準備を進める
- ・建築、物品購入、資料作成等の役割分担を行い、タイムスケジュールを決めていたが、計画通り進める事ができず、準備がぎりぎりになってしまった。
 - ・特別養護老人ホーム建設の借入返済のための資金調達については具体的に進めることができなかった。
 - ・就業規関連は、「職員就業規則」、「職員給与規程」、「契約職員給与規程」は、新規の規程を作成することができた。しかし、「契約職員就業規則」については、次年度へ繰り越した。また、事業計画の見直しを予定していたが、これまでの内容に、特別養護老人ホーム、デイサービスを組み込むのみに留まった。
- ウ 社会福祉法人の変革の内容を鑑み法人運営の再構築を行う
- ・具体的な情報収集を行うことができず、課題の整理も実施できなかった。
- エ 人材育成の強化
- ・人権にかかわる研修等を各施設で実施した。
 - ・理事長による役職・管理職全員対象に「リーダーズアカデミー研修」を2ヶ月に一度実施した。

(1) 庶務・経理係

①概要

法人直轄の係であることを認識し、法人全体の運営にも視野を広げ、情報を全員で共有し、正確かつ組織的に事務処理を行なうことを目標に進めたものの、特別養護老人ホームの開設に向けた準備や検討も担当に頼り、共通業務も他人任せの傾向が強く、全体の問題としての意識に欠けた。

また、9月から2月まで派遣職員2名を採用し、取り組むことができていなかった固定資産の確認、書類整理、請求事務、財務分析について進めたが、不定期かつ個別の取り組みとなってしまう、全体として計画的に進めることができなかった。

確認、チェック体制の甘さから、不適切な事務処理が判明した。該当部署とも確認し、

問題点の洗い出しと改善策が課題として残った。

各施設の会議への参加は習慣化でき、必要な情報を伝えることができた。

②重点目標に対する取り組み

ア 担当施設との連携に努め、財務分析の報告や事業提案を行なう。

- ・修繕や購入など日常的な事務処理については、担当と連携し進めることができたものの、中長期計画作成は、通常業務に時間を費やし着手できなかった。

イ 財務研修や講習会に積極的に参加する。

- ・マイナンバー制度の研修には全員が参加した。財務に関する研修は、部会等の研修参加にとどまり、外部研修への参加はできなかった。

ウ 契約職員の契約内容等が複雑になり、また、正規職員の処遇についても様々な課題が発生しているため、確認を徹底し、職員個々に必要な情報を的確に提供していく

- ・申請等については職員からの自己申告に頼らず、個々に必要と思われる情報を提供し、適切に進めることができた。

③見学者受け入れ状況

区分／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体	日数	1	1	1	3	2	2	2	6	0	0	0	0	18
	人数	3	19	2	15	10	37	24	118	0	0	0	0	228
個人	日数	1	0	1	0	0	2	6	1	3	1	4	2	21
	人数	1	0	1	0	0	5	13	3	6	3	5	4	41
総 合計	日数	2	1	2	3	2	4	8	7	3	1	4	2	39
	人数	4	19	3	15	10	42	37	121	6	3	5	4	269

(平成26年度 31日、359人)

④実習生受け入れ状況

区分／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
社会人・学生 (資格取得)	日数	0	25	46	7	49	83	7	12	31	9	8	59	336
	人数	0	3	5	4	4	7	9	2	8	2	4	4	52
生徒 (施設利用)	日数	0	0	11	4	2	9	0	4	0	0	0	0	30
	人数	0	0	4	4	2	9	0	1	0	0	0	0	20
総合計	日数	0	25	57	11	51	92	7	16	31	9	8	59	366
	人数	0	3	9	8	6	16	9	3	8	2	4	4	72

(平成26年度 429日、68人)

(2) 固定資産管理係

①概要

利用者が安心・安全な生活を送るために、保守点検・環境整備・建物設備の課題を洗い出し、整備を行なった。

②重点目標に対する取り組み

ア 建物設備の「中長期計画」を作成する

- ・特に設備面（器具・備品類）の減価償却について庶務経理係と検討がしきれず、「中長期計画」に入れ込むことができなかった。
- ・補助金活用を具体的に進めるため、年間スケジュールに組み込む形で考えていたが、洗い出しが不十分で実行には至らなかった。
- ・「中長期計画」の作成スケジュールを細かく立てたが、施設間の足並みがそろわず、全体としての完成には至らなかった。

③主に実施した施設整備

- ・大型工事として、「特別養護老人ホームカナン新築工事」を行なった。
- ・「職員研修所屋外工事」（外壁塗装、雨漏り補修等）を実施した。
- ・当初予定していた「さつき寮 201 号室改修工事」「若杉寮客間改修工事」「白菊寮解体工事」は、特別養護老人ホームカナン新築工事の工事費用が増額になったため平成 28 年度以降に見送った。

月	日	実施内容	業者
4	6	簡易専用水道定期検査	県環境衛生試験センター
	8	浄化槽法第 11 条検査①	県環境検査事業団
	8	職員研修所屋外工事～5 月 20 日	津久井工務店
5	8	樹木消毒	知的施設
	20	浄化槽清掃 (バルナバホーム、グレイスホーム、若杉寮)	渋川衛生社
	25	自動検針端末取付（身障施設）	関電工
7	23	地下重油タンク：漏洩検査官の蓋の交換 (グレイスホーム、あけぼのホーム)	第一工業株式会社
8		※地下重油タンク：目視点検	乙四資格保持者
9	10	法人玄関自動ドア修理	群馬ナブコ
10	10	電線にかかる枝の剪定	関電工
	21	樹木消毒	身障施設
11	19	浄化槽 11 条検査②	県環境検査事業団
	13	森の散歩道の樹木整備	勢多造園
1	13	めぐみホール脇階段外灯 LED 交換	岳電工
	14	浄化槽 11 条検査③	県環境検査事業団
	16	自動検針端末取付（知的施設）	関電工
	16	森の散歩道の樹木整備	勢多造園
3	26	受水槽・高架水槽清掃	日化メンテナンス

※定例会議は、4,6,8,10,12,2 月の第 2 木曜日に実施。

※浄化槽定期点検は、法令に則り実施。

※浄化槽法第 11 条検査（年 1 回・群馬県環境検査事業団）は、3 回に分けて実施。

- ①グレイスホーム、めぐみの里、あけぼのホーム、エステル、シャローム
 - ②バルナバホーム、マンナ、さつき、職員研修所、若杉寮、ベテル、MGM、恵の園会議室、白菊寮、地域交流ホーム、あけぼのコミュニティー教会、あじさいの家、ダビデホーム、クロスホーム
 - ③さくらホーム
- ※身障・知的施設のキュービクルは、奇数月に定期検査を実施（関東電気保安協会）

(3) 防災係

①概要

火災・地震訓練と毎年定められた回数は実施した。
 昨年度から検討を進めてきた非常食は、内容を充実させ、地域住民分を含めた食数（200→400食）を4年計画で購入することになった。

②重点目標に対する取り組み

- ア 防災管理マニュアルの作成を目指す
 - ・各施設単位での避難経路の確認や応援者の対応まではまとめることができた。しかし、内容や表記方法の新たな課題が浮き彫りとなった。
- イ 災害時における福祉施設の役割を念頭にまずは非常食の整備に着手する
 - ・非常食の大幅な見直しを図った。日数（2→3日分）そして食数（200→400食）の変更を始め、副菜にレトルトカレー、牛丼の具、鯖の味噌煮等を取り入れ、これまでの主食（ご飯・パン）と水分のみという内容から変更を行なった。また、食数を増加させたことにより、利用者・職員分だけに止まらず、地域住民への非常食提供が可能となった。

③防災訓練年間実施結果

月	日	訓練内容	担当施設	備考
4	30	地震訓練	エステル	避難、出火防止、初期消火
5	27	合同訓練（日中）	あけぼのホーム	避難、通報、消火訓練
6	13	合同訓練（日中）	さくら・バルナバホーム	避難、通報訓練
	25	合同訓練（日中）	エステル・あじさいの家	避難、通報、消火訓練
	29	合同訓練（日中）	さつき	避難、通報訓練
7	4	合同訓練（日中）	ダビデ・クロスホーム	避難、通報訓練
	30	合同訓練（日中）	グレイスホーム	避難、通報訓練
9	17	合同訓練（日中）	ベテル	避難、通報、煙訓練
10	14	合同訓練（夜間）	あけぼのホーム	避難、通報訓練
	24	合同訓練（夜間）	さくら・バルナバホーム	避難、通報、消火訓練
	30	合同訓練（夜間）	めぐみの里	避難、通報、消火訓練
11	7	合同訓練（夜間）	ダビデ・クロスホーム	避難、通報、消火訓練

	26	地震訓練	エステル	避難、出火防止、初期消火
12	10	合同訓練（夜間）	グレイスホーム	避難、通報訓練
2	18	地震訓練	ベテル	避難、出火防止、初期消火
	24	地震訓練	あけぼのホーム	避難、出火防止、初期消火
	24	地震訓練	さつき	避難、出火防止、初期消火
	25	合同訓練（日中）	エステル・あじさいの家	避難、通報、消火訓練
3	10	合同訓練（日中）	めぐみの里	避難、通報訓練
	12	合同訓練（日中）	ベテル	避難、通報訓練

※その他 ・秋季全国火災予防運動（平成 27 年 11 月 9 日～15 日）

・春季全国火災予防運動（平成 28 年 3 月 1 日～7 日）

（４）人材育成係

①概要

管理職、指導職と組織力の強化のため「リーダーズアカデミー」を隔月で開講した。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材育成体系の完成と周知

- ・法人内の体系については、方向性を見だし具体的な内容に踏み込むことができた
が、新たに外部（介護職員初任者研修、体験学習等）も含めた体系づくりの課題が
出され完成にはいたらなかった。

③実施研修

ア 法人内研修

- ・理事長研修会

月	日	内 容
7	28	理事長が福祉を志すきっかけになった「2つの出会い」

- ・管理職研修会（相談役による）

月	日	内 容
6	22	管理職の日々の精進
10	19	あなたはどこを見えていますか
12	21	人生の危機に備えよ

- ・指導職研修会（相談役による）

月	日	内 容
5	25	「理念」の旗印のもとに何が私たちを一つにしてくれるのか
8	17	これからの福祉のあり方と地域福祉の担い手となるために
1	15	恵の園の命運は人材育成にかかっている

・指導職研修（実務研修）

月	日	内 容	講 師
4	30	新任チーフ研修	山田理事長

・全体研修会

月	日	内 容	担 当 者	備 考
6	9	AED を使用した心肺蘇生法	人材育成係	渋川消防署
11	10	「秋から冬にかけて流行する感染症」 — 恵の園で行える予防と対策 —	人材育成係	井口医師 (産業医)

・現任研修会

各施設にて年間 11 回実施。

(部門別)

実施せず。

(階層別・相談役による一般職研修会)

月	日	内 容
4	20	希望は明日と未来の糧となる
7	21	教養なしに主体性の確立は困難です
10	19	逃げてはいけません
1	15	職員には教養が不可欠です

(階層別・役職研修会)

月	日	内 容	講 師
4	20	「障害者虐待防止について」 ～ マイーム虐待通報を受けて ～	真部施設長
7	21	「マイナンバー法について」	池田サブチーフ
10	19	次世代育成支援対策推進法	信澤副部長

・新任職員研修会

月	日	内 容	講 師
6	29	フォローアップ研修	信澤副部長
2	29	フォローアップ研修	山田理事長
3	23 ～ 26	平成 28 年度新任職員研修 (27 年度中途採用含む)	山田相談役 山田理事長 各施設長

イ 法人外研修

- ・施設毎に種別団体の研修、群馬県社会福祉協議会関連の研修に参加した。

ウ 見学研修

- ・各施設にて他法人の施設見学を行なった。

エ 自己啓発の推進

- ・ 図書を購入を進めるも、職員に対する発信が殆どなかった。

オ 専門医等による研修

- ・ 実施せず。

(5) 広報係

①概要

法人内に設置する求人のチラシを各施設に設置。特別養護老人ホームカナン開設に伴い法人パンフレットのレイアウト変更を行なった。

ヒストリームービーを引き続き検討。修正したが、今年度も公開には至らなかった。マニュアルの再整備を行なった。

②重点目標

ア 28年度の特養開設に向け、各種広報活動の推進

- ・ 法人パンフレットに特別養護老人ホームカナン・デイサービスゆうかりを加えレイアウト、イラストマップを変更した。
- ・ 施設紹介ムービーは新規事業所を追加し再編集した。
- ・ ホームページでは特別養護老人ホームカナン開設の進捗状況を告知するページを公開し2回更新した。
- ・ 職員募集の告知を各施設に設置。リクルートの求人情報サイト「リクナビ」での求人活動では、法人のホームページ「先輩からのメッセージ」の記事や写真を利用し、「リクナビ」の先輩情報のページを作成した。
- ・ その他の媒体を使っての広報活動では介護職を対象とした専門誌「おはよう21」の表紙モデルの応募を企画したが、応募用の写真が間に合わず今年度応募までは至らなかった。来年度継続する。

イ ヒストリームービーの完成に向け、作業を継続

- ・ 新たに写真を6枚加え再編集した。
- ・ 50周年のムービーまでは手がつかず、来年度に持ち越した。

③業務内容

- ・ 法人パンフレットの改訂および管理
特別養護老人ホームカナン、デイサービスゆうかりを加え発行した。
- ・ 施設紹介パンフレットの更新および管理
最終面に特別養護老人ホームカナン、デイサービスゆうかりを加えた。
カナンのパンフレットのひな型を作成した。
- ・ 「施設紹介ムービー」の更新と管理
新たな事業所を追加、施設紹介の文言をよりわかりやすく編集し上申中。
- ・ 「恵の園からのメッセージ」ムービーの作成と管理
「施設紹介ムービー」と合わせ、実習オリエンテーション、見学者来訪時等に活用した。
- ・ 「ヒストリームービー」の作成と管理

- 写真を追加し再編集し上申した。
- ・施設紹介パネルの作成と管理
所定の場所で掲示した。
 - ・ホームページの更新および管理
特別養護老人ホームカナンのページを作成。工事の進捗状況を写真で掲載した。
先輩からのメッセージを今年も更新、就職説明会、リクナビなどでも活用できた。
 - ・恵の園ニュース「一粒の麦」の作成及び管理
毎号 2500 部印刷、約 1200 部送付
平成 27 年 4 月 24 日（春号）発送
平成 27 年 9 月 1 日（夏号）発送
平成 27 年 12 月 18 日（秋号）発送
平成 28 年 2 月 5 日（新年号）発送
 - ・看板の整備と設置
主に固定資産管理係が中心となり行なった。
 - ・職場啓発ポスターの掲示および管理
二ヶ月に一度ローテーションし、所定の場所に掲示した。

（6）地域福祉係

①概要

小・中学校の福祉体験学習や介護職員初任者研修などの講師依頼に応じて講師を派遣するなど福祉の推進に努めることができた。しかし、その講師を選任するための基準作りを進めることができず、次年度に引き続き検討することとなった。

②重点目標

- ア 地域との交流を図るために地域の催しなどに積極的に参加する
- ・近隣施設等の祭事や地域で行なっている祭事について、地域福祉係として具体的な関わりを検討することができず、また、各施設への案内が不十分だったため新たな祭事等に参加することができなかった。
- イ 各施設と連携を取り、ボランティア内容を具体的にし、積極的にボランティア募集を行なう。
- ・ボランティア募集について、環境整備などの作業場所が整理されていなかったため、洗い出しを行ない、整理したが、どのように募集を掛けるか具体的な方法まで検討できなかった。また、ポスター作成について、内容やレイアウトなどの話し合いを行なったが、ポスターを作成できなかったためポスターによる募集は掛けられなかった。
- ウ 人材育成係と連携して、講師を派遣するための講師基準作りを行なう
- ・地域福祉係としては、具体的な内容を話し合うことができなかった。

③ ボランティア受け入れ実績

- ア 新規ボランティア登録者数：9名

イ 協力ボランティア団体：団体4

ウ ボランティア実績表

区分/月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体 ボランティア	日数	4	4	5	4	5	5	6	5	3	3	2	5	51
	人数	27	23	31	24	26	30	32	39	23	22	14	33	324
個人 ボランティア	日数	6	13	20	18	23	7	9	11	11	12	12	12	154
	人数	9	15	22	18	24	11	11	13	13	15	12	15	178
総合計	日数	10	17	25	22	28	12	15	16	14	15	14	17	205
	人数	36	38	53	42	50	41	43	52	36	37	26	48	502

④地域との交流について

- ・利用者と共に地域サービスデー（環境美化）を6月と9月の年2回実施した。
- ・ゆうあいピック記念温水プールに、行事用品としてテントやテーブル、椅子の貸し出しを行なった。
- ・10月下旬に行われた渋川市社会福祉協議会主催のボランティア祭に模擬店協力を行なった。
- ・ボランティア交流会（感謝の集い）を各施設で実施した。しかし、めぐみの里は3月に行なう予定でいたが、都合により実施できなかった。次年度以降は、実施時期を見直し、実施する。

⑤講師等の派遣について

- ・渋川市立金島中学校と渋川市立南小学校から福祉体験学習の講師の派遣依頼があり、それぞれの学校に職員が行き、車椅子についての講義と体験を行なった。
- ・榛名女子学園から介護職員初任者研修の講師依頼があり、依頼のあった科目について職員を選任し、講義を行なった。また、恵の園で作成した試験問題を使用した筆記試験を職員が行き、実施した。

⑥その他

- ア 地域行事の「明保野祭」に利用者と共に参加した。
- イ 渋川ライオンズクラブのふれあいボーリング大会に招待をいただき参加した。
- ウ 高崎パイロットクラブコンサートへの招待やJリーグ「ザスパクサツ群馬」、BCリーグ「ダイヤモンドペガサス」の試合観戦招待をいただき観戦した。
- エ 渋川市総合文化祭への作品を出展したり、歌謡部門に参加したりした。
- オ 高柳歌謡教室発表会に招待いただき参加した。
- カ 豊秋婦人会より、花の苗を頂き、各施設のプランター等に植えた。

(7) 交通安全係

①概要

交通事故防止のため、ポスターやチラシの掲示、配布を行なうと共に朝礼等で交通安全週間などの情報提供を行なった。また、職員から指摘のあったカーブミラーの見にくい部分など危険個所の樹木を選定するなど改善に努めた。運転適性検査を2回実施し、その結果を基に、各施設の面談にも組み入れてもらい事故防止に努めたところ、事故数は大幅に減少し、保険料の減少に繋げることができた。

②重点目標に対する取り組み

- ア 交通安全に対する職員の意識高揚を図るため、職員研修会での交通安全講習に加え、運転適性検査を実施し、事故の分析や個別指導を行なう。
 - ・職員研修会での交通安全講習は、日程変更もあり実施できなかった。運転適性検査は2回実施し、48名が受講した。特に、要注意の結果が出た職員については、各チームにも情報提供し、Do-cap面談時にも注意を促した。
- イ 点検整備マニュアル、安全運転マニュアルを作成し、車両担当及び各職員に交通安全への意識を高めていく。
 - ・点検整備のポイントについてのチラシを配布したものの、打ち合わせの機会を設けることができず、マニュアル作成には至らなかった。

③業務計画に対する取り組み

- ア 地元警察署及び安全運転協会の協力を仰ぎ、運転適性検査を全員に実施できるよう計画する。また、職員朝礼時及び回覧等も利用し、施設周辺、県内の交通情報や事故例を提供して交通安全の意識を高める。
 - ・地元警察署及び安全運転協会からの情報については、掲示や連絡票に記入し、各施設、全職員への回覧をお願いするなど、概ね予定通り実施する事ができた。
- イ 車両担当者による毎週1回の車両点検、定期的な洗車と工具類の点検、運行日誌を速やかに車両管理者に提出することを徹底させ、運転する誰もが、いつでも快適に運行が出来るようにする。
 - ・運行日誌の提出の遅い車両担当には、その都度注意し、速やかに提出するよう促した。
- ウ 除雪に備え、ショベルローダーの講習を受講する。
 - ・日程調整がうまくいかず、新規受講はできなかった。

(8) 安全衛生係

①概要

安全で快適な職場づくりを行うため「安全は一人ひとりの準備から」を年間スローガンとして掲げて安全衛生活動に取り組んだ、しかし、数件の労働災害が発生してしまった。また介護現場では腰痛を抱える職員が増加傾向にあり、腰痛予防体操を推奨し、対応を行なったが、顕著な効果はなく、今後も新たな取り組みを検討していくこととした。

②重点目標に対する取り組み

ア 労働災害の予防を図る

- ・労働災害予防のために全職員にアンケートを実施し、それを基に各施設で環境改善や作業方法の改善を図った。また、腰痛や利用者による他害行為に関する課題が表出し、次年度への課題となった。

イ 労働疾病の予防を図る。特に腰痛予防に焦点をあて取り組んでいく

- ・メンタルヘルス対策として外部機関に委託して、ストレス診断テストを全職員に実施し、個々にメンタルヘルスに関するアドバイスを得ることができた。

(9) 収益事業係オリーブ

①概要

飲食事業の売り上げが落ち込んだが、商品の販売は増加し、売り上げは昨年度よりも増額となった。

②重点目標に対する取り組み

ア 利益の向上

- ・飲食事業の利用者数が減少したが、園内販売では新商品を仕入れるなどして売り上げが増加し、総売り上げは前年度比約4%増となった。

(10) ポパイ（福祉用具貸与・販売事業）

①概要

県内各事業所に認知をしていただくために定期的に各地区を回り営業を行なったが、年度途中で管理者が退職したため、予定回数をこなすことができなかった。前管理者の退職に伴い契約中の利用者が他事業所へ変更する等あり、利用者数が一時的に減ってしまったが、営業活動を行なうことで後期は、成果が少しずつ出始め、レンタル契約の利用者数も増加した。

②重点目標に対する取り組み

(介護予防) 福祉用具貸与事業

ア 年間売り上げ目標 700 万円を達成できるようにする。

- ・地元である北毛地域を中心に営業をかけたが、売上高は 163 万円であった。

イ 地域に広告媒体を利用し、アピールすることで福祉用具の相談や必要な援助を行ない信頼関係を深める。

- ・渋川広域の交流会に参加することでポパイをアピールしたこと、知人のケアマネー

ジャーを紹介して頂く事で、新規利用者を獲得することができた。また、サービス付高齢者住宅等で早い納品等の対応をすることにより、サービス付高齢者住宅の施設長からポパイをアピールして頂き利用者数を増やすことに成功した。

(特定) 福祉用具販売事業

ア 年間売上目標 200 万円を達成できるようにする。

- ・家族会等でポパイの事業内容の説明を行なった。また、フェアを実施することで恵の園のご家族や法人外の職員等多くの方々にポパイを利用していただくことができた。大口の車いす販売等があったため、売上高は 320 万円であった。

イ 福祉用具を使用している状況等を確認し、メンテナンスや相談に乗る。

- ・依頼があった際は、即日にメンテナンスや相談対応をとったことにより信頼関係を築く事ができ販売依頼が来るようになった。

③年間売上実績

	平成 27 年度 売上高	平成 27 年度 売上総利益
貸与事業	1632	497
販売事業	3203	569

単位／千円

(11) その他の公益事業

①福祉啓発のために季刊誌「さきがけ」を編集、作成、発行

- ・平成 27 年度は、4 回発行した。

②介護職員初任者研修課程の実施

- ・予定通り実施したが、定員 20 名のところ、受講者は 17 名であった。募集方法等について、これまでと同様の方法だけではなく、新たな取り組みの検討が必要となった。

③少年補導及び矯正事業への協力

ア 前橋家庭裁判所からの補導受け入れ

	期間	性別	人数		期間	性別	人数
1	6/29、30、7/2 (3 日間)	男	1	2	11/13、11/17～19 (4 日間)	男	1
				計	2 人 (7 日間)		

(平成 26 年度 2 人、22 日間)

イ 矯正事業への協力

榛名女子学園（女子少年院）からの依頼受け入れ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	8	6	0	4	6	5	5	0	6	6	0	4	50

(平成 26 年度 28 人)

④NPO 法人 渋川広域障害保健福祉事業者協議会に参画（職員の出向、役員としての経営参加等）し、渋川広域地区における障害のある方々の地域生活支援を実施

- ・2名の職員を派遣し、恵の園の相談支援事業所「ぶどうの木」と連携し、計画相談や相談等を行なった。